



霊山寺山門から出発、明德短大生

お接待に感激 23人歩き遍路体験

今治明德
短大生

九月十六日から五日 文化論に組み入れ、岩屋間、今治明德短期大学(愛媛県今治市・佐藤晃一学長)の学生二十三人と教職員が歩き遍路を体験学習した。昨年度から地域

寺々前神寺間を歩いたが、今年は一巻札所・霊山寺から二十二番・平等寺までの約百四十キロ。四月から講義が始まり

「遍路の歴史」「遍路の心」「歩き遍路の風景」「四国霊場の文化財」などのテーマで学び、白衣の制作、スケジュールなど全て学生が自主的に取り組んだ。さらに

二日に分けて「一日歩き遍路」も実習している。当日早朝今治市をバスで出発、霊山寺に到着したのは八時半。引率の桑原拓夫講師の先導で、予定より少し遅れて山門を出た。

十二番焼山寺、二十番鶴林寺、最終日には二十一番太龍寺と難所のつづく中を全員無事に平等寺に到着。ゴールした学生の中には、今年度には社会人入学した藤田豊子さん(六一歳)河渕美知子さん

(五四歳)の顔もあった。参加者はお接待に勇気づけられたという。「お接待のため、わざわざ到着時間を確認に来てくれたり、阿南市阿瀬比では地域ぐるみでテントを張って待っていてくれたり」と感激した様子。



阿南市阿瀬比のお接待所

講座を担当した市川ひろみ助教は「昨年の経験から十分な準備をしてきたので、比較的順調に運んだ。学生もそれぞれ自信を持っていたのではないかと話していた。」